

令和 5 年度  
学校巡回  
公演事業

【オーケストラ公演】

バッハからベートーヴェンまで

日本テレマン協会

since1963

# テレマン室内オーケストラ Telemann Chamber Orchestra



## がっこうじゅんかいこうえんじぎょう 「学校巡回公演事業」

しょうがっこう ちゅうがっこう ぶんかげいじゆつ だんたいじつえんげいじゆつ じゅんかいこうえん おこ こども しつ たか  
小学校・中学校等において文化芸術による団体実演芸術の巡回公演を行ない、子供たちが質の高い  
ぶんかげいじゆつ かんじょう たいげん きかい かくほ こども じゆた そうぞうりよく そうぞうりよく しこうりよく  
文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケー  
ション能力などを養ない、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的として  
います。ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行ないます。また、実演においては、子供  
たちが参加できる工夫を行ないます。



舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）  
独立行政法人 日本芸術文化振興会

## 演奏曲目

## [1] 【オープニング】A. ヴィヴァルディ：歌劇「オリンピアード」序曲

イタリアの作曲家ヴィヴァルディはヴァイオリンの名手で、有名な「四季」の他にも協奏曲やオペラをたくさん書きました。歌劇「オリンピアード」はオリンピックがテーマになったオペラです。

## [2] 【弦楽器のお話】

## [3] 【弦楽合奏の響き】 -J.S. バッハ：G線上のアリア

そのメロディーの美しさから後世まで愛され、様々な編成に編曲された、誰もが知る名曲です。正式には「管弦楽組曲第3番」の第2楽章「エア」といいます。

## [4] 【演奏を交えて「四季」の解説】A. ヴィヴァルディ：「四季」より

ヴィヴァルディはソネットと呼ばれる短い詩に曲を付けて「四季」を作曲しました。詩に書かれた小鳥や嵐、お祭りなどの描写が音によって表現されています。

## [5] 【体験プログラム】ヴァイオリンを弾いてみよう！

## [6] 【チェンバロを聴いてみよう】J.S. バッハ：メヌエット

ピアノがハンマーで弦をたたくのに対して、チェンバロは弦をはじいて音を出します。この曲はバッハがチェンバロの学習のために書いた曲です。右手のパートと左手のパートの対話をお楽しみ下さい。

## [7] 【合奏協奏曲って何？】A. ヴィヴァルディ：「調和の靈感」作品3第8番第1楽章

ヴィヴァルディはピエタ院という修道院で音楽の先生をしていました。教え子たちのために協奏曲を作曲することもあり、「調和の靈感」もその中の曲集です。第8番は2本のヴァイオリンが活躍する曲です。

## [8] 【体験プログラム】バロックダンスのコーナー～メヌエットを踊ってみよう！～

## G.F. ヘンデル：「水上の音楽」第二組曲よりメヌエット

- 休憩 -

## [9] 【リコーダーの魅力】

## T. メールラ：チャッコーナ

## A. ヴィヴァルディ：室内協奏曲イ短調 RV108 第1楽章

皆さんが学校で習うリコーダーは、もともと鳥に歌を覚えさせるための楽器だったそうです。バロック時代には大流行し、ソナタや協奏曲もたくさん作られました。

## [10] 【体験プログラム】指揮者体験コーナー -W.A. モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジークより

## [11] 【クラシックのポピュラー音楽】

## L. アンダーソン：プリンク・プレック・ブランク

## L. アンダーソン：舞踏会の美女

堅苦しいイメージのあるクラシック音楽ですが、中には楽しい曲もあります。20世紀にアメリカで活躍したルロイ・アンダーソンは楽しい曲をたくさん書きました。プリンク・プレック・ブランクは弦楽器の弓を使わずに指ではじく「ピッチカート」だけで演奏する曲です。「舞踏会の美女」はその名の通り舞踏会をイメージしたワルツです。

## [12] 【歌のコーナー】

## バッハ/グノー：「アヴェ・マリア」

## G.F. ヘンデル：オラトリオ「メサイア」より「シオンの娘よ、大いに喜べ」

バロック時代には「歌」は他の楽器と同じぐらい重要な楽器でした。マイク無しで弦楽伴奏と対等に歌うプロの歌手の「生」の歌声を楽しんで下さい。

## [13] 【体験プログラム】共演のコーナー ～合唱共演～

## [14] 【弦楽合奏の魅力】O. レスピーギ：リュートのための古風な舞曲とアリア 第3番より「シチリアーナ」

レスピーギは20世紀イタリアの作曲家です。音楽学校の先生をしていたこともある人で、学校の図書館で見つけた古い楽譜にあったメロディーから作曲したりしました。「シチリアーナ」のメロディーはどこかで聞いたことのある人も多いと思います。

## [15] 【天才モーツァルト】W.A. モーツァルト：「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より1楽章

この曲の出だしは知らない人はいないのではないのでしょうか。「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」は日本語にすると「小さな夜の音楽」という意味です。

しゅつえんしや

# 出演者

し き かん ゆんぐわん  
指揮 / 姜 隆光

むら たよしお  
リコーダー / 村田佳生

うた なかむらともこ  
歌 / 中村朋子

あざい さきの  
コンサートマスター / 浅井咲乃

しかい いずた ゆか  
司会 / 伊豆田佑香

しつない  
テレマン室内オーケストラ

## おんがく なに バロック音楽って何？

「クラシック音楽」と一口に言っても、実はその中には「バロック」や「古典派」、「ロマン派」など、いくつかの種類があります。

「バロック音楽」は1600年頃から1750年頃までの時代に作られた音楽のことです。日本で言う江戸時代の少し前から中頃までにあたります。代表的な作曲家はJ.S. バッハ、G.F. ヘンデル、A. ヴィヴァルディ、G.Ph. テレマンなどです。

当時は今と違い、コンサート用のホールではなく、教会や貴族のお屋敷で演奏されていました。どういった時に演奏されたかということ、教会の儀式

の時、貴族のパーティーや食事時などです。バッハやヴィヴァルディの作った音楽は、当時の人々の生活ととても深い関わりのあるものでした。

バロック時代より前は声楽(歌)が

主流でしたが、この時代にヴァイオリンやチェンバロといったたくさんの楽器が発達し、そのおかげで協奏曲やソナタといった器楽曲がたくさん生まれました。



きゆうてい えんそう ぎやうす  
宮廷での演奏の様子

## がっき 楽器について

ヴァイオリンやチェロといった弦楽器はバロック時代に発達しました。木で出来た胴体には弦が4本張ってあります。弓には馬の尻尾の毛が張ってあり、そこに松脂を塗って、弦をこすって音を出します。ヴァイオリンが一番高い音を、チェロやコントラ

バスは低い音を、そしてヴィオラはその間の音を担当します。胴体の大きさはヴァイオリンが一番小さく、音が低い楽器になるにつれて胴体が大きくなります。

右の写真はチェンバロです。ピアノの先祖にあたる楽器です。よく見る

と今のピアノの鍵盤とは白い部分と黒い部分が逆ですね。ピアノは弦をハンマーでたたいて音を出しますが、チェンバロは弦をはじいて音を出します。今のピアノと同じ原理で音を出す楽器が登場したのは、バロック時代が終わってからです。



そく がっき  
ヴァイオリン属の楽器

(ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス)



チェンバロ



チェンバロの鍵盤

# プロフィール

## ●指揮：姜 隆光

テレマン室内オーケストラの首席ヴァイオリン奏者をつとめるかわら、同楽団指揮者・音楽監督延原武春のアシスタント・コンダクターをつとめています。世界的なバロック・ヴァイオリン奏者であるサイモン・スタンディジやウツラ・ブンディースらと共演してきたことで、18世紀当時の演奏習慣や奏法、解釈について深い知識を持っています。

## ●ソプラノ：中村 朋子

テレマン室内合唱団のソリストとトレーナー。大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。主にバロック音楽や宗教音楽の分野でソリストとして活躍しています。これまでにバッハ作曲「マタイ受難曲」やヘンデル作曲「メサイア」、ベートーヴェン作曲「交響曲第9番」などでソリストをつとめました。

## ●ヴァイオリン：浅井 咲乃

テレマン室内オーケストラのコンサートマスター。ヴィヴァルディの「四季」が得意で、音楽雑誌でも「いま、もっとも聞きたい『四季』」という高い評価を得ました。東京での公演も「浅井咲乃は熱意にあふれた弓さばきで華々しいソロを弾きこなす」と報道されました（共同通信）。2012年の9月にはCDデビュー。大阪市浪速区の文化親善大使も務めています。

## ●リコーダー：村田 佳生

大阪音楽大学でバロック音楽の演奏習慣について学びました。その後東京の桐朋学園大学で2年勉強し、ヨーロッパへ留学。アムステルダム音楽院やユトレヒト音楽院でリコーダーを学び、美術館を巡るコンサートに出演もしました。2005年に帰国し、関西を拠点として演奏活動を行いながら、各地でリコーダーの指導も行っています。

## ●テレマン室内オーケストラ

テレマン室内オーケストラは1963年に結成された室内オーケストラで、出来てから50年以上が経ちます。室内オーケストラというのはふつうのオーケストラより人数が少ないオーケストラのことです。テレマン室内オーケストラはこれまでに多くの本邦初演を行ってきました。バッハやモーツァルトの時代には今と楽器の形が少し違っていたので、それぞれの時代に合わせた楽器を使って演奏したりもしています。これまでに「大阪文化祭賞」、「音楽クリティッククラブ賞」、「大阪府民劇場賞」、「文化庁芸術祭優秀賞」、「サントリー音楽賞」等を受賞しました。大阪では中央公会堂や大阪倶楽部という古い建物でコンサートを開催しています。そういったコンサートから指揮者高曲伸和をはじめ様々な奏者が生まれています。

## ●テレマンとは？

ゲオルク・フィリップ・テレマン——ドイツ人の作曲家の名前です。18世紀にはバッハ、ヘンデルも足元に及ばないほど高い評価を受けていたそうです。私たちはテレマンの自叙伝にあった「人が喜ぶために作曲する」という言葉に感銘を受け、彼の名をかかげたグループを結成しました。代表的な作品は「食卓の音楽」という曲集です。



## 知ってますか？～10月1日は「国際音楽の日」です。～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会が、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることをしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。